

令和6年1月4日発行

令和6年

1

January

No.596



広報

たらま

TARAMA VILLAGE PUBLICITY PAPERS

迎春

多良間に
カササギが飛来



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、39番目の
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。



11月2日、8日 撮影 村山武範



新年のごあいさつ

多良間村長 伊良皆 光夫

村民総参加の村づくり

村民の皆様、新年明けましておめでとう
ございます。

令和6年の輝かしい新春を迎えられまし
たことを、心からお慶び申し上げます。

これまで、村政運営にご理解とご協力を
賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、これまで中止・
縮小していました村内のイベントや祭りが4
年ぶりに復活するなど、多くの人々による賑
わいが見られました。催し会場では、たくさ
んの笑顔と喜びがあふれ、人のつながりの大
切さを改めて感じたところです。

また、長引く「ロシアによるウクライナ侵略」
や「急激な円安」に伴う燃料費や諸物価の
高騰など、地域経済に打撃を与えた一年でし
た。そして、イスラエルとハマスの武力衝突は世
界の平和と安全保障に不安を与えています。

本村におきましては、昨年は村政施行
110周年という節目のめでたい年でした。

6月には、記念式典並びに祝賀会が開催さ
れ、沖縄県知事をはじめ国・県・村内外から
多くの来賓のご出席を賜りました。大正・
昭和・平成の激動の時代を幾多の試練や困
難に立ち向かい、今日の多良間村の礎を築
いてこられました、先人たちの偉業に感謝
と敬意を表します。私たちが先人から受け
継いだように、今を生きる私たちの使命は
先人が守り・育て・慈しんできたこの島を未
来に繋ぐことです。そのためには、人口減少
という大きな課題解決に向けて村民総参加
で取り組まなければなりません。

また、4年ぶりにリアル開催された離島フェ
アにおきましては、二つの特産品と二つの
工芸品計4点が表彰を受けました。多良
間村からは4年続けての受賞で多良間村
の知名度は高くなっています。過去において
は、展示即売品目は、2〜3点程度でしたが、
今年は15点余となり、年々増え続けています。

新しい特産品の開発は、村の活性化に確実
に貢献しています。地域の皆さんの取り組
みに感謝を申し上げます。

目まぐるしく変化する社会情勢により、
行政が取り組むべき課題が山積しています。
その課題を一つ一つ解消するために、村民の
皆様に寄り添い、心の通った思いやりのある
行政サービスを展開してまいります。そして、
すべての村民の皆様が生活の豊かさ実感し、
「よくなった」と実感できるよう、ゆかり村
づくりに努めてまいりますので、本年もご支
援とご協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

むすびに、皆様にとりましても多良間村
にとりましても幸多からん、すばらしい一年
となりますよう心から祈念申し上げます。年
頭のごあいさつといたします。

令和六年 元日



新年のごあいさつ

多良間村議会 議長 福嶺 常夫

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、新たな希望と豊富に満ちた輝かしい令和六年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、村議会活動に対しましては、日頃から温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は相変わらず続くロシアのウクライナ侵攻に加え、イスラエルとハマスの衝突でも、罪のない多くの尊い命が奪われています。このような中、国は、先島諸島で有事を睨んだ国民保護の体制を強化しつつあります。改めて、世界平和を願います。

また、長引く円安による物価高騰は、国民の生活に大きな影響を及ぼし、農家においても肥料や飼料等の高騰が深刻な経営

圧迫となっています。

さとうきびは、台風や干ばつ等の被害もありましたが、十二月五日に製糖工場の操業が開始されました。事故もなく順調な操業に期待します。

畜産においては、昨年子牛の安値が続ぎ、厳しい経営状況であります。早い時期でのセリ価格回復を願います。

葉たばこは昨年六月の収穫期を襲った台風2号で大きな被害を受けました。今年のかぼちゃ、にんにく、とうがらし、ノニ栽培等も含め、自然災害の影響もなく無事に収穫を迎えることを祈ります。

また、新型コロナウイルス感染症が昨年5月に「5類」へと引き下げられたことにより、スツウプナカや八月踊り、たらま島一周マラソン大会

等も、4年ぶりに通常開催を迎え、大盛況でありました。今年には更に多くの観光客も来島することでしょう。

議会といたしましては、行政と一体となって農業、観光振興、住民福祉等に取り組んで参ります。

今後とも村議会に対しましてご支援・ご提言をお願い申し上げます。令和六年の辰年が村民の皆様にとりまして、実り多い年でありますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

令和六年 元日



新年のごあいさつ

多良間村教育委員会 教育長 池城 三千雄

あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい2024年の新春を迎えられ、心身ともにご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。旧年中は、教育委員会の教育行政運営に対し、ご理解、ご協力、ご支援をいただき心から感謝申し上げます。

オランダ王国との繋がり

昨年12月、駐日オランダ王国テオ・ペータス臨時代理大使が、高田海岸に遭難した「フアン・ボッセ号」に関連して来島しました。

高田海岸については沖縄県教育委員会、九州国立博物館により海底地形や海底堆積層、海底に散在する遺物の撮影が行われました。引き続き多良間村教育委員会は潜水による遺物の分布、島内に残る遺物調査、記録整理及び鉄製錨の保存処理を行いました。

オランダ商船ということもあり、オランダ

水中文化遺跡関係者も来島し、現地の海に潜ったり、村の関係者との懇談も行われました。その後オランダ王国大使館関係者、教育・文化・科学省・文化遺産庁からも関係者が数回来島され、オランダとの関係も子ども達にもっと知って貰いたいと言う事で絵本の作成に取りかかり、12月に開催された第9回コミュニティまつりで報告会が行われました。絵本の読み聞かせ・報告会参加のため駐日オランダ王国テオ・ペータス臨時代理大使が来島したと言う事でした。

新年早々オランダの風景を夢に見て、いつか訪れてみたい国となりました。

伝統文化の継承「新しい試み」

多良間村自然文化継承事業で古文書関係の現代語訳に取り組んでいます。その一貫として八月踊り(組踊り)の現代語訳字幕パネルを踊り場の南、右側に設置して、観衆の皆さんにアンケートをお願いしました。良い

反響でしたので次年度は工夫して完成していきたいと思います。

第9回コミュニティまつりでは、教育功労者(八月踊り)6人の皆さんの表彰がありました。八月踊りは、先輩の厳しい指導があり、現在に引き継がれ、後輩達に確実に引き継がなければなりません、八月踊りが国指定重要無形民俗文化財として開催されるのも先輩諸氏のおかげであり感謝申し上げます。今年も八月踊りが開催されることを期待しております。

2024年の辰年「十日越し夜雨、豊年満作」昨年に倍して勝る一年になりますことと、皆様のますますのご健勝を祈念申し上げます。今後とも、子ども達の健全育成のため、ご指導、ご協力、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2024年 辰年 新春

離島フェア 2023

令和5年11月24日～26日まで、沖縄セルラーパーク那覇において離島フェア2023が行われた。多良間村からは7事業者が展示販売会に出展し、食品の部で2点、工芸品の部で2点が優良特産品の特別賞を受賞し

た。また、離島フェア2023絵画コンクールでは中学校3年生清村仁愛さんが奨励賞を受賞している。伝統芸能ステージでは、獅子舞「金丸獅子」、ふしゃぬふエイサーが披露された。

〈食品の部〉

「黒あずき」 株式会社たらま農産

「PREMIUM黒糖アイス」

三幸食堂(株)多良間ふふうじゃた事務所

〈工芸品の部〉

「紅花(苧麻ピアス)」 たらま花保存会

「サン(お守り)タペストリー」

たらま花(紅花)保存会



表彰式の様子 (観光振興課 佐和田健 撮影)

第56回多良間村駅伝競技大会

11月26日(日)、第56回多良間村駅伝競走大会がおこなわれ、小中学生の部7区間16.5kmに6チーム、一般の部6区間19kmに5チーム出場した。

大会結果は次の通り。

成績結果

小・中学生の部

優勝 大木チーム 1時間13分40秒

準優勝 吉川チーム 1時間15分53秒

三位 津川チーム 1時間16分15秒

一般の部

優勝 大木チーム 1時間20分20秒(新)

準優勝 大道チーム 1時間21分50秒(新)

三位 嶺間チーム 1時間29分28秒

区間賞(新記録)

一般3区(3km)

大道チーム 運天 功倅 選手 11分51秒

一般6区(4km)

大木チーム 柳岡秀二郎 選手 15分35秒



駅伝の様子



一般の部大木区ゴールの瞬間

第23回たらま島一周マラソン大会

令和5年11月18日(土)、第23回たらま島一周マラソン大会が4年ぶりに現地開催された。今大会は多良間村制施行110周年も兼ねており、「楽しく走ろう 歴史が見える島 多良間島」をテーマに254人が出場した。



観光親善大使アルベルト城間さんのスターターに合わせて一斉に走り出す10kmコースの選手の皆さん



温かい声援を送る村民の皆さん



今年度で多良間を巣立つ中学3年生全員でゴールを目指し仲間とともに最高の思い出を作り上げた



(左)23.75km 2連覇
富田 繁生さん
(右)23.75km 8連覇
塚本 恭子さん

第23回たらま島一周マラソン大会 結果						
23.75km コース	1位	富田 繁生	1時間26分22秒	1位	塚本 恭子	1時間50分17秒
	2位	赤石 直之	1時間33分13秒	2位	中山いずみ	1時間53分06秒
	3位	土田 貴彦	1時間33分56秒	3位	高梨 暁子	1時間57分09秒
10km コース	1位	大久保良平	37分21秒	1位	入里沙絵子	50分07秒
	2位	梶田 佳則	41分23秒	2位	福嶋富美子	50分59秒
	3位	古川 晋	46分16秒	3位	内村 江里	1時間02分42秒
5km コース	1位	親里 龍馬	20分23秒	1位	安里 美樹	29分24秒
	2位	與那嶺 琉	20分57秒	2位	兼本有梨奈	32分55秒
	3位	浜川 亮磨	23分00秒	3位	糸洲陽南乃	32分56秒
3km コース	1位	湧川 琳陽	14分19秒	1位	松川 莉緒	13分12秒
	2位	村山 優央	14分31秒	2位	柳岡 麗葉	14分12秒
	3位	湧川 惺穂	14分46秒	3位	柳岡うらら	14分40秒



元気に走り出す3kmコースの皆さん



白バイの先導のもと走る23.75kmコースの皆さん



給水所の様子



昼食にはヤギ汁そば・汁そば、おにぎり、ピサパンピン、ぜんざいが振る舞われた。

23回たらま島一周マラソン大会 ふれあいパーティー

マラソン大会後、多良間小学校体育館において、ふれあいパーティーが行われた。乾杯・余興とおし交流が促進され、島内外の人々との親睦がさらに深まった。



会場の皆さんで
ハリヨイ美童(みやらび)



大事な人だから
(多良間村老人クラブ連合会)



ミニライブ
多良間親善大使 アルベルト城間さん



たらまハル音頭
(琉舞愛好会)



ふしゃぬふエイサー
(多良間村青年団協議会)



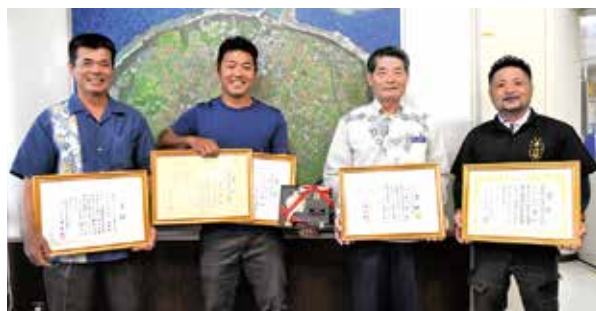
会場の皆さんでたらぴんダンス!



第49回沖縄県畜産共進会 受賞報告会

11月7日に行われた第49回沖縄県畜産共進会に多良間村代表として出品をされた、森山美空さん(森山英樹さん)、湧川農さん、東風平正明さんによる受賞報告会が、村長室において行われた。伊良皆村長は「2年振りの3頭の出品と、ほぼ全頭の入賞は多良間の新たな歴史を作った。日頃からの飼養管理、品種改良などが今回の実績に表れた。これまで以上に技術を磨くことで多良間村の団体優勝は夢ではないと思う。」と激励と今後の精進に期待を込めた。結果は次のとおり。

- 若雌第1類
 - ・優等5席 森山 美空 あおい号
- 若雌第2類
 - ・優等1席 湧川 農 みらい号
沖縄県知事賞、全国肉用牛振興基金協会会長賞、沖縄県畜産振興公社理事長賞、沖縄県農業共済組合長賞、沖縄県牛割蹄師会長賞
 - ・優等3席 東風平 正明 あさふく号



受賞報告会 村長室

村長杯争奪ゲートボール大会

11月29日、村長杯争奪ゲートボール大会が村営ゲートボール場で開催された。本大会は、ゲートボールを通して健康増進及び会員相互の交流と親睦を深めることを目的に毎年11月に開催している。3コートが設置され好天気の中、試合が繰り広げられ、嶺間Bチームが勝ち進み見事頂点に輝いた。

また、今大会に選手として参加し、来年カジマヤーを迎える下地カツさんに『日頃から健康に気を配り長寿となった今でも元気に過ごされゲートボールを続けられている』として表彰状が授与された。

優勝	嶺間Bチーム
準優勝	土原Bチーム
3位	宮良Bチーム



優勝した嶺間Bチーム



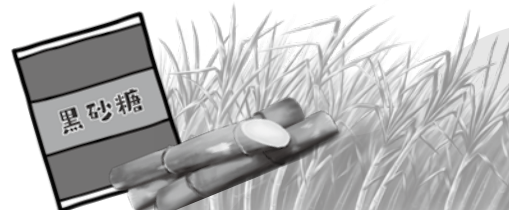
表彰を受けた下地カツさん(中央)

令和5/6年期 宮古製糖多良間工場 操業開始式



宮古製糖多良間工場(下地明工場長)の令和5/6年期の製糖操業が12月5日に開始された。

操業開始式の様子
(提供:産業経済課)



天川区 海岸ボランティア清掃

令和5年12月3日(日)、天川区の皆さん約20名で海岸ボランティア清掃が行われた。「日本で最も美しい村」の活動として、クディトゥブリからナガシャキイトゥブリまでの清掃をおこなった。



清掃の様子



清掃後 集合写真

(撮影:佐和田健)



多良間郷友会 新年会のご案内

【日 時】令和6年2月4日(日) 午後12時開始
 【場 所】マリエールオークパイン(那覇市古島1-15-11)
 【会 費】大人4000円 学生無料
 問い合わせ:098-859-2051(在沖多良間郷友会 西筋)

多良間空港 消火救難総合訓練

令和5年11月29日(水)、多良間空港において消火救難総合訓練が行われた。多良間空港における航空機事故を想定し、搭乗者の救出、事故者の救出・処置、災害の防止等関係機関が有機的に連携し、出動の訓練を重ね緊急時における各機関の即時対応の慣熟を量ることを目的として実施され、関係機関による訓練を実施した。



消防団員が負傷者のトリアージを行っている様子

トリアージ・心肺蘇生講習会

令和5年11月28日(火)、コミュニティー施設大ホールにおいてトリアージ・心肺蘇生講習会が行われた。多良間診療所の山中先生のご指導のもと、消防団・役場職員約20名が参加した。

倒れている人がいたら……

- ①周囲の安全確認
- ②肩をたたく・声をかける 意識があるか確認
- ③周りの人に協力を求める

AEDを持ってくる・119番への電話の協力依頼

- ④胸骨圧迫

(胸の真ん中に手のひら基部(手首に近い部分)で胸骨圧迫。5~6cm沈み込む程度。)

テンポは1分間に100~120回(アンパンマンのマーチ・DIAMONDSなどの曲ぐらの速さ)



胸骨圧迫・AED操作の様子

人権啓発運動

12月5日(火)Aコープ前にて人権擁護委員による啓発運動が行われた。啓発運動は人権の大切さを多くの方々に知っていただく為の活動の一つで、他にも人権に関する相談や調査救済等の活動も行っている。

子どもの人権110番 0120-007-110

みんなの人権110番 0570-003-110

女性の人権ホットライン 0570-070-810

○困った時には1人で悩まず相談しましょう。

○秘密は守ります。



人権啓発運動の様子 Aコープ前

保育所 クリスマス・おゆうぎ会

～ステージで輝く ぼく わたし～

令和5年12月16日(土)、多良間保育所においてクリスマスおゆうぎ会が行われ、子どもたちによるダンスや劇が披露された。子どもたちは各出番ごとに違った衣装を身にまとい、練習の成果を存分に発揮していた。また、保護者による出し物や、保育所協力隊の皆さんからのプレゼントもあり、笑顔の絶えない会となっていた。



クリスマスソングに合わせて踊る子どもたち



侍を表現した



ギターを持ちかっこよく表現



物語「てぶくろ」を劇で表現

第27回歳末たすけあいチャリティーグラウンドゴルフ大会

令和5年12月10日(日)、小学校グラウンドにおいて「繋がり、支え合うみんなの地域づくり」をスローガンに、第27回歳末たすけあいチャリティーグラウンドゴルフ大会が開催された。今大会には134人の参加と募金があり、この募金は高齢者世帯や障がいをお持ちの方、一人親家庭などへ配分し、2024年の良い正月を迎えるために使われるとのこと。大会結果は次の通り。

男子の部	1位	佐和田 健	38打
	2位	大浜 佑太	41打
	3位	花城 保夫	44打
宮國 文夫		44打	
女子の部	1位	島袋 梅子	42打
	2位	垣花 奈緒子	48打
	3位	下地 まり	48打
ホールインワン	長浜英樹、豊見山正、佐和田健 桃原光盛、大浜佑太、花城保夫		



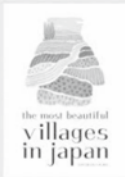
グラウンドゴルフ競技の様子



閉会式後 集合写真



連合のつながりをきっかけに子供たちに特別な体験を！
北海道赤井川村の雪を沖縄県多良間村に送る？！



日本で最も美しい村連合連携企画

雪よ！届け！

プロジェクト
第1弾

CAMPFIREでクラウドファンディング挑戦中

「日本で最も美しい村」連合連携企画『雪よ！届け！』 北海道赤井川村から沖縄県多良間村へ

「日本で最も美しい村」連合に加盟する町村の地域おこし協力隊が中心となり、沖縄県多良間村に住む子供たちに「雪を見て、触れてほしい！」という思いから始めました。
北海道～沖縄まで加盟している町村があることを活かし、連合のつながりをきっかけに子供たちに特別な体験をさせるプロジェクトに「美しい村ネットワーク」が挑戦します。



沖縄県多良間村



北海道赤井川村



QRコードからアクセスしてご支援ください！
皆様からの温かいお気持ちお待ちしております

CAMPFIRE 「雪よ！届け！」

検索

1月18日(木)
まで支援受付中！



現地パートナー 登 彰子 プロジェクトリーダー 三島 卓也 現地パートナー 須藤 利利香

私たちは「日本で最も美しい村」連合に加盟する町村に移住し、そこに関わりを持ちたい人が集い立ち上がった「美しい村 ネットワーク」という名のチームです。その中から生まれた「こと」に関する初めてのプロジェクト！応援よろしくお願いたします。

担当 観光振興課 登 彰子

連絡先 0980-79-2260

ハンセン病元患者のご家族へ

～対象となる方々に「補償金」を支給します～

- この補償金は、法に基づき、ハンセン病元患者家族の被った精神的苦痛を慰謝するためのものです。
- 秘密は守られますので、まずは、お電話でご相談ください。

厚生労働省補償金担当窓口

電話番号 **03-3595-2262**

受付時間 10：00～16：00(月曜日から金曜日、土日祝日、年末年始を除く。)



請求期限は、令和6年(2024年)11月21日まで

ハンセン病問題を正しく理解し、偏見や差別のない社会の実現を目指しましょう。

ハンセン病 厚労省 検索

対象者	(ア) 配偶者(事実婚も含む) (イ) 親、子 (ウ) 親・子の配偶者及び 配偶者の親・子等	補償金額 180 万円
	(エ) 兄弟姉妹 (オ) 祖父母・孫 (カ) 祖父母・兄弟姉妹・孫の 配偶者及び配偶者の祖父母・ 兄弟姉妹・孫等 (キ) 曾祖父母、ひ孫、おじ、 おば、おい、めい	補償金額 130 万円

※平成8年(1996年)3月31日までの間に、「ハンセン病の発病歴・国内等居住歴のある方」と上記関係にあったことがあり、現在、生存されている方が対象です。また、同居など一定の要件が必要な場合があります。

令和6年1月

村長の たうけー むぬゆむ



慶応2(1866)年の1月21日、薩摩藩の西郷隆盛と小松帯刀、長州藩の木戸孝允(桂小五郎)らが坂本龍馬の仲介で京都で会見。当時、敵対していた薩摩藩と長州藩の間に盟約が結ばれた。世に言う「薩長同盟」だ。犬猿のなかだった薩摩藩と長州藩が徳川幕府を倒す目的で結んだ同盟だ。1月21日は、仲の悪かった2藩が一つの目的のために手を結んだことから「ライバルが手を結ぶ日」とも呼ばれる。薩長会談は、水面下で秘密裏に行われたため、幕府はその動きを知ることができなかった。犬猿の仲だった2つの藩が同盟を結ぶことを全く予想していなかったのだ。同盟が結ばれたのちも、西郷隆盛や木戸孝允らはたびたび会談を繰り返し、信頼関係を深

めた。同時に同盟も強固なものになっていった。薩長同盟を結ぶまでの長州藩は、幕府から敵とみなされ、他藩からも孤立していた。これを解消して倒幕に向けて動けることと、薩摩藩を経由して武器が手に入ることは長州藩にとって大きなメリットだった。薩摩藩にとつては、無駄な戦による薩摩国力の低下を避け、倒幕を進められるというメリットがあった。薩長同盟が締結されたあと、第二次長州征伐が決行されたが、幕府軍は長州藩に打ち破られる。翌1867年10月、15代将軍徳川慶喜は朝廷に「大政奉還」(政権を朝廷に返上すること)を申し出た。12月には「王政復古の大号令」(天皇を中心とする明治政府樹立

の宣言)が発せられ、徳川幕府の時代は終わりを告げた。時代は一気に明治維新の近代化改革へと進むことになる。

薩長同盟からわずか5年後の1871(明治4)年、明治維新最大の改革「廃藩置県」(はいはんちけん)が行われた。それまで各地の藩がそれぞれの治める地域の政治をとりまとめてきたが、これを明治政府が取り仕切るようにした。いわゆる「中央集権化」である。これにより明治政府は、国の方針を全国各地に伝えやすくなり、政策をよりスムーズに進めることができた。こうして平安時代から続いていた各地の領主による「地方分権政治」は、中央政府に一元化される大改革となった。

置県は税收確保のためにも欠かせない改革だった。

廃藩置県から8年後の1879(明治12)年、琉球藩は廃止され、沖縄県になった。沖縄はもともと琉球王国という独立した国で、代々中国と朝貢貿易を続けていた。江戸時代に薩摩藩の支配下に置かれたが、国としては独立しており、中国との朝貢に変わりはなかった。琉球問題は日清両国の重大事件に発展した。明治政府は清国との交渉を有利に進めるため、宮古・八重山を清国に割譲する提案をした(分島問題)。清国は交渉内容を不利と見て拒否する。その後も日清間における琉球問題は、くすぶり続けた。琉球においても不安定な空気が流れ続けたが、最終的に「日清戦争」で日本が勝利することにより、終止符が打たれた。1872年の琉球藩設置から1879年の廃藩置県は、明治政府が一方的に強権をもって断行したもので、これを「琉球処分」と称している。ここに琉球王国は約500年にわたる歴史を閉じて、日本の一県となった。

お知らせ

消防設備士試験

【試験日】

令和6年3月3日(日)

【試験の種類】

午前の部乙種(第1類～第7類)

午後の部甲種(特類、第1類～第5類)

【願書受付期間】

令和6年1月19日(金)～1月30日(火)

【願書配布先】

各消防本部予防課

県宮古事務所総務課

県八重山事務所総務課

ジュンク堂書店那覇店

消防試験研究センター



危険物取扱者試験

【試験日】

令和6年2月18日(日)

【試験の種類】

甲種、乙種(第1類～第6類)、丙種

【願書受付期間】

令和6年1月9日(火)～1月18日(木)

【願書配布先】

各消防本部予防課

県宮古事務所総務課

県八重山事務所総務課

ジュンク堂書店那覇店

消防試験研究センター



【お問合せ先】

(一財)消防試験研究センター沖縄県支部

TEL:098-941-5201

※電子申請できます。ホームページをご覧ください!!

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



あつきーの協力隊日記

明けましておめでとございます。地域おこし協力隊のあつきーです。

昨年は、様々な場面で皆様のご支援・ご協力を頂き、ありがとうございました。

本年もどうぞ、よろしくお願致します。

さて、今回は新春らしく、少し嬉しかったことをお伝えしたいと思います！

出張やプライベートで沖縄本島に行くことがある私、那覇にお気に入りの「隠れ家バー」を持っております。(お店を知りたい方は観光振興課までお問い合わせ頂くか直接聞いてください。笑)

那覇出身のマスターは国内外のお酒にとっても詳しく、お店には泡盛をはじめ、伊江島の「イエラム」も常備されています。通い始めて1年半以上経ちますが、私が横浜出身で現在多良間島に住んでいることをマスターもスタッフの方も存じて、「多良間トーク」に花が咲くこともしばしばです。

昨年夏、マスターが「イエラム」

の醸造所見学に伊江島に行かれたということをお聞きが、多良間にも黒糖焼酎(すまじゃき)があるんですよ!とお勧めしたところ、「なんとという名前のお酒?飲んでみないなあ」と興味を示され、なんとその場でスマホからご購入!「次あつきーさんが来た時に一緒に飲もうね!」とおっしゃってください、とても嬉しかったです!

話はそれだけで終わらず。昨年末にバーに伺った際、「蔵元さんがあるみたいで、ご丁寧にメッセーjカード頂いたよ!」と。この偶然には私もびっくり!すっかり「すまじゃき」を気に入られたマスターに一杯ごちそう頂き、素敵な夜を過ごしたのでした。

思いもかけないところで色々な人の縁が繋がっていくんだなあと感じた今回の出来事、今年も皆様に多くの「素敵なお縁」が舞い降りますように☆



世帯数と人口

(令和5年11月末現在)

総世帯数	532 (0)		
総人口	1,056 (-3)		
男	578	女	481
区 別	人 口	世 帯 数	
土 原	64 (0)	36 (0)	
天 川	79 (0)	46 (-1)	
津 川	89 (-1)	45 (-1)	
宮 良	71 (0)	32 (0)	
嶺 間	152 (0)	68 (0)	
大 道	178 (0)	92 (0)	
大 木	264 (-1)	121 (0)	
吉 川	155 (-1)	89 (2)	
水 納	4 (0)	3 (0)	
出 生	0	死 亡	3
転 入	1	転 出	1

()内は前月比

緊急ダイヤル

火災・救急ワンクッションコール	119 番
警察官派出所	(79-2010) 110 番
急病人／多良間診療所	79-2101
停電／沖縄電力多良間電業所	79-2147
断水／役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病／役場産業経済課	79-2503
ガス専用／JA 多良間	090-6859-2355

10月 救急車・ヘリ搬送件数

救急車出動 …0件 ヘリ搬送 …0件

※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

駐日オランダ大使館 テオ・ペータス臨時代理大使 来島

12月1日(金)、駐日オランダ大使館のテオ・ペータス臨時代理大使ら5名が来島され村長表敬をおこなった。テオ・ペータス臨時代理大使、オランダ教育・文化・科学省文化遺産庁文化遺産アドバイザーのヨゼ・スヒュリュースさんから絵本『ウランダグーヌ ピルマスパナス(オランダリーフのなぞ)』が伊良皆村長に手渡された。この絵本は、村指定文化財史跡のオランダ商船遭難の地(高田海岸)にまつわるお話しが描かれている。12月2日(土)に開催された第9回コミュニティーまつりでは、オランダ語・たらまふつ(方言)・日本語での読み聞かせが行われた。



絵本『ウランダグーヌ ピルマスパナス(オランダリーフのなぞ)』を受け取る伊良皆村長



集合写真 (村長室)

編集後記

- 旧年中は広報誌へのご協力、誠にありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。
- 11月18日に開催された第23回たらま島一周マラソン大会では、4年振りの開催で多良間全体が活気に溢れていましたね。夕方に行われたふれあいパーティーでは、青年会のふしゃぬふエイサーにクイガマとして出演しました。ふしゃぬふエイサーは八月踊り「忠臣仲宗根豊見親組」の舞台をエイサー風に作り変えたもので、組踊の実際の音源も使用しています。私は八月踊りでオオガマを経験させてもらったので、曲やストーリーの進み方など、懐かしさを感じるところがありました。コロナ禍から明けて人々の交流が活発に戻りつつあるので、イベントなどを通して多良間を知ってもらう機会が増えるのは良い事だなと感じた1日でした。
- 今月も広報誌へご協力頂いた皆様、ありがとうございました。 (大城)